



「ほっとルーム」だより

第176号 令和5年4月吉日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(子どもみらい課内 TEL 33-5618)

入学・進級おめでとうございます



入学・進級の季節になりました。1年生の保護者の皆さん、ご入学おめでとうございます。この時期は、今までと大きく違う体験をするため、子どもたちは、身体的・精神的にとっても疲れがちです。話をしっかり聴いてあげて、受け止める言葉かけをしていきたいですね。

子育てアドバイス



人との交わりに喜びを感じる力を子どもに育むために
—— 多くのなかよしの友だちを ——



学童期に友だちと学び合う経験によって、感情の基盤は成熟し、思春期に友だちと共感し、認めあうことで、社会性は成熟します。

安心感を育てる幼児期 保護者から「うちの子は友だちの輪に入れない」「一人が好きなのか友だちと遊ぼうとしない」というお話を聞くことがあります。子どもにもいろいろなタイプがあり、ほかの子どもと比べる必要はありません。子どもは本来、安心できる人にしかおしゃべりできないものなのです。子どもは、お母さん(保護者)には思ったことを話しても、よく聞き入れてもらえる、叱られたり、否定されたりしないという安心感が胸にあれば、自分を信じて人の輪に入って行けるようになります。



～よく聞き入れることで大切な事～
子どもの言うことを「聞くこと」と「聞き入れること」とは、別だということです。子どもが話しかけてきたら、何でも頷いて聞くよう心がけてください。

もし子どもが親にとって都合の悪いことを言っても、できるだけ穏やかな表情や言葉遣いで、お母さんはそうは思わない、そういうことは好きではない、と丁寧に伝えましょう。

友だちと学び合う学童期 友だちとの遊びやおしゃべりを通して、人として大切なことを学習していくのが子どもなのです。幼児期のときのように、自分中心では、友だちと楽しく遊べないことを知り、道徳心や協調性を身につけていくのです。学童期に大人から学ぶだけでなく友だちから学び、友だちに教える経験は人間が成長していく過程で大切な事です。

～友だちの大切さ～
大人に学ぶことからだけでは、子どもが心から、友だちに伝えたいこと、教えたい気持ちはわきてきません。友だちと共有する時間のなかに、子どもの心を動かすものがあるのです。私たちは、子どもに、友だちの大切さを伝え続けなければなりません。

共感し認めあう思春期、青年期
中学生以降になると、授業や部活動などの学校生活の中で、スポーツやそのほかの文化的な活動をおして、友だちや仲間と互いに語り合い切磋琢磨する機会に出会うようになります。そうした中で、相手の感想、評価、反応などを受けて自分の内面を客観視するのです。学業だけではなく、友だちとの交わり力(社会性)を学習することも、子どもが成長していく過程で大切なことなのです。



思春期になりますと今度は、同じような興味や関心をもつ友だちを求めようになっていきます。「価値観を共有しあえること」が、友だちの条件ともいえます。自分を肯定的に評価してくれる友だちに巡りあい、共感し認めあうことで、社会性を成熟させていくのです。

勉強がよくできるからといって、学校が楽しい場になるわけではありません。価値観を共にする友だちと交わることができるから、学校は楽しく、また大切な場なのです。

参考文献:佐々木 正美 著 「はじまりは愛着から 人を信じ、自分を信じる子どもに」

～ほっとルーム～
(子どもみらい課内)

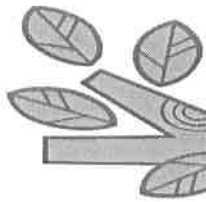
子育ての中で、気になること等ありましたら、一人で悩まず、いつでも気軽にご相談ください。一緒に語りましょう。

TEL : 33-5654

FAX : 32-3124

令和5年度も引き続き 「子育て」を応援します

「家庭教育支援事業」は心の扉をノックする相談・支援活動です。



家庭教育支援事業は、取り組みはじめて15年目を迎えます。
本年度も家庭教育について、保護者の皆様の手助けになるために、
下記のとおり「家庭教育支援事業」を継続して実施します。

★ 家庭教育支援員による相談活動

① 小学校低学年(1・2年生)の長子家庭を訪問します。

- ・いちき串木野市の全小学校対象
1年生長子の家庭訪問(年3回)
2年生の家庭訪問(年1回)

② ほっとルームの出前サロン「おあしす」を開設します。

- ・PTA時に、お茶を飲みながら、子育てや家庭教育について語りましょう。
- ・小学校だけでなく、保育園等でも開設予定です。



③ 電話相談や「ほっとルーム」での来室相談もいたします。

★ 情報紙の発行

「ほっとルーム」だよりにより、家庭教育に関する情報を提供します。

★ 取材・広報活動

各学校の家庭教育学級や、地区女性連が行う母親学級、母親セミナー等を訪問し、取材・広報します。



★ アンケートの実施

年1回アンケートを行い、取組に活かします。



★ 「家庭教育支援連絡協議会」の開催

・効果的な家庭教育支援の在り方について協議し、各団体と連携を深め、共通実践していきます。

小学校長代表、市P連代表、市まち連代表、市女性連代表、民生・児童委員代表、商工会議所代表、子育て支援機関・グループ代表等で構成

★ 企業との連携

- ・企業の方々に「ほっとルーム」だよりを配布します。
- ・連絡協議会の委員になっていただいております。
- ・子育てや家庭教育についての提言をいただいております。

家庭教育支援チームです

子育てに悩みはつきもの。
子育ての喜びや悩みをお聴きし、一緒に考えていきたいと思ひます。
子どもたちの健やかな成長を願って、子育てを応援します。

若松 友子
支援員

尾場瀬 ちなみ
支援員

白石 静香
支援員

領家 ひろ子
支援員

県の相談機関

かごしま教育ホットライン24 ☎0120-783-574

☎099-294-2200※携帯電話からはこちら

24時間子どもSOSダイヤル ☎0120-0-78310

PTAすくすくライン(家庭教育やしつけについて) ☎099-251-0309